

いこま 市議会のうごき

No. **111**

平成24年（2012年）
5月臨時会
6月定例会

<http://www.ikoma-shigikai.jp/>

発行／平成24年8月1日 編集／生駒市議会 議会報編集委員会
〒630-0288 生駒市東新町8番38号 Tel.0743-74-1111（内線604）

6月定例会

生涯学習施設条例の一部改正など
11議案を可決

平成24年生駒市議会第2回（5月）臨時会は、5月9日に開きました。この臨時会では、条例1議案と専決処分2議案を審議し、それぞれ原案のとおり可決、承認し、議長・副議長をはじめとする議員役員を決定しました。

平成24年生駒市議会第3回（6月）定例会は、6月11日～25日の15日間で開きました。

この定例会では、市長提案の11議案と6報告を審議し、すべて原案のとおり可決、承認、了承しました。



手作りの竹食器で食べる流しそうめん（生駒山麓公園野外活動センター）

生涯学習施設条例の一部改正を可決

6月11日開会の本会議では、市長から11議案が提案され、7議案を常任委員会に審査を付託し、18日と19日の委員会で審査しました。25日の最終本会議では、「特殊勤務手当条例」の一部改正議案に対する修正動議が提出され、賛成少数で修正案を否決し、賛成多数で原案を可決しました。そのほか6議案も原案を可決しました。

見直すため、利用料金の上限額などを改正するものです。

「生涯学習施設条例」の一部改正は、市民サービスの向上のため、平成25年4月から、最終使用時間を1時間延長して22時までにし、同時に17時以降の時間区分を2時間30分ずつに

時間区分		17:00～19:00 19:00～21:00	17:00～19:30 19:30～22:00
たけまるホール (旧中央公民館)	大ホール (舞台のみ使用・音響等操作必要)	3,900円	4,900円
生駒市図書館	大会議室A	1,500円	1,900円
南コミュニティセンター せせらぎ	セミナー室 201	700円	800円
北コミュニティセンター I STAはばたき	セミナー室 201	1,000円	1,300円
芸術会館 みらく美楽来	セミナー室1	800円	1,000円

平成25年4月から時間は延長するが、料金は平成28年3月まで現行で据え置く

実質的な値上げではないか

問 従来どおり2時間の利用だけではない利用者にとっては、実質的な値上げとなるのではないかと。

答 指定管理者から、「2時間30分の利用でも2時間分の料金に据え置く」との提案があったため、料金は、平成28年3月まで現行どおりとする。このことは、指定管理者との協定書に明記する考えである。

特殊勤務手当条例の一部改正を可決

「職員の特殊勤務手当に関する条例」の一部改正は、危険、不快、困難な勤務に従事する職員に支給されている特殊勤務手当のうち、賦課徴収・環境衛生業務・消防防災の各手当の支給方法等を減額・廃止し、災

害派遣業務手当を新設するものです。平成25年4月から廃止される手当の一部は、激変緩和措置として、今年7月から段階的に減額します。

賛成討論

この改正は、支給基準や範囲などを検証した上で、3月定例会での指摘に対応し、激変緩和に配慮しているため、評価できる。市民から理解の得にくい消防の夜間と時間外の手当の重複、本来業務のはしご車塔上での消防活動や火災・水防出動などの手当の廃止は合理的である。

市税の滞納整理(庁外)	300円/日	廃止
手数料等の滞納整理(庁外)	250円/日	廃止
動物等の死体処理など	800円/回	400円/日
清掃施設での汚物取出し作業	4,500円/日	廃止
清掃施設での清掃作業	750円/日	420円/日※①
臨時の清掃施設での清掃作業	1,000円/日	廃止
火災・水防現場での業務	500円/回	250円/回※①
救急現場での業務	300円/回	150円/回※①
救急救命士による救急現場での業務	500円/回	300円/回※②
はしご車塔上での消防活動など	500円/回	廃止
夜間勤務	500円/回	非管理職のみ廃止
災害救助法適用の市町村での支援	-	1,000円/日

平成25年4月から ※①は廃止、※②は1,000円/月

任期付き職員採用条例の一部改正を可決

「一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正」は、市民サービスの向上のため、一定期間内に業務の終期または業務量の増加が見込まれる場合などの一般的な業務(保育士や幼稚園教諭など)に、任期付き職員を採用することができるようにするため改正するものです。

賛成討論

任期付き職員の採用は、職員数の削減に努めている定員適正化計画の枠外にあり、必要な期間、必要な人材を集中的に投入できる。この改正は、任期付き職員が、臨時職員などよりも安定的な身分、収入、手当が保障され、正規職員の待遇により近づいたものである。

決算審査特別委員会を設置

11日の本会議では、平成23年度の各会計決算議案を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。今年度は、従来の決算審査の方法を見直し、委員が事務事業を調査・評価します。委員会は、来年度の市の事業などに、この評価を反映させるために「議会評価報告書」を作成す

る予定です。委員は次のとおりです。

- ◎井上充生 ○桑原義隆
 上原しのぶ 下村晴意
 有村京子 吉波伸治
 白本和久 塩見牧子
 浜田佳資 成田智樹
 樋口稔 吉村善明
 (◎委員長 ○副委員長)

議会改革特別委員会委員を選任

同じく11日の本会議では、欠員となっていた議会改革特別委員会委員に、成田議員を選任しました。

請願書と意見書を撤回

13日の本会議で提案された請願書と2件の意見書は、それぞれ請願者と提出者から撤回請求があり、25日の本会議で撤回を承認しました。

■東日本大震災災害廃棄物の広域処理に対して慎重な対応を求める請願書
 撤回理由「市長が「震災がれきを

受け入れない」と公表したため。

■使用済み核燃料中間貯蔵施設の奈良県内設置に反対する意見書
 撤回理由「13日に奈良県知事が県

内に使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設の検討を断念すると表明し、内容が達成されたため。

■関西電力大飯原子力発電所3・4号機の再稼働を許可しないことを求める意見書

撤回理由「16日に国が原子力発電所の再稼働を決定し、内容が達成できないため。」

表彰状と感謝状を伝達

5月23日に開催された全国市議会議長会において、市議会議員として25年間、市政の発展に尽くされた功績により、山田正弘議長に同会から表彰状が贈られました。また、同会評議員として会務運営に努められた功績により、井上充生議員に感謝状が贈られ、11日の本会議で山田正弘議長から伝達されました。



井上充生 議員



山田正弘 議長

委員会の審査報告

議会改革特別委員会

5月9日に委員長が委員を辞任したため、6月11日の委員の選任が決定した後、委員会を開催し、正副委員長を互選しました。その結果、新委員長に山田弘己議員、新副委員長に吉村議員と決定しました。

また、5月17日と30日、6月28日、7月10日に開催した委員会では、次のことを決定しました。

●決算審査の方法の見直し

決算審査特別委員会で、決算議案の審査と合わせ、事業評価を実施することを確認するとともに、委員外議員の発言に係る意見を付して、議会運営委員会に協議を申し入れる。

●基本的な計画の議決事件化

具体的な議決事件の対象計画名などの合意を受け、次回以降の委員会で条例案を確認する。

●テーマ別調査の見直し(常任委員会の委員任期の見直し)

議会基本条例案作成時に、「テーマ別調査の「原則実施案」と「実施可能案」の2案を作成し、議会運営委員会に協議を申し入れる。

●議会への市民参加

議会報告会の運営の中で検討する。

●市民との対話(意見交換)

議会報告会を定期的で開催する。

病院事業特別委員会

4月26日は、「生駒市立病院の基本設計に関する調査報告書」での指摘を踏まえて、市が見直した基本設計の平面図や配置図などの説明を受け、質疑を行いました。

6月21日は、基本設計の見直しの検証などのため、市に対して、収支計画と徳洲会の医師確保の状況をはじめ、「病床の増床に対応した将来スペースの確保」、「地下2層の駐車場」、「手術室7室」のそれぞれの必要性を説明する書類の提出を求めました。また、「開院後の病院運営に対する市民参画」と「地域医療連携」の調査について、担当委員から説明を受け、質疑を行いました。

病院建設の基本設計のおもな見直し項目

基本設計 原案	見直し案
地下1階 地上8階	地下2階 地上7階
鉄筋コンクリート造 (免震構造)	鉄骨造 (免震構造)
駐車場 120台 (機械式 74台)	駐車場 158台 (地上~地下2階 自走式)
エレベーター4台 エスカレーター1台	エレベーター 10台
	正面玄関前の動線整理 待合スペースの配置変更 病棟階の配置変更 屋上庭園の設置

ここが知りたい

本会議の一般質問

6月
11日～13日
定例会

質問者数 10人

掲載以外の一般質問もありますので、ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。

リニア駅設置による環境への影響は

上原しのぶ議員

問 リニア中央新幹線の間際駅を市北部の学研高山地区第2工区に誘致することを奈良県に要望したが、駅誘致のメリットをどのように考えているのか。

答 リニア新駅を中心に様々な施設の立地が進み、新たな鉄道網が誕生することで、雇用機会が創出されるところとともに、市税収入が増加し、将来の市の財政に大いに貢献すると考えている。また、学研高山地区第2工区の土地活用の課題が解決し、保全する区域を明確化することにより、学研高山地区第2工区全体の自然環境などの荒廃を防ぐことができると考えている。

問 駅設置にともなう周辺整備の費用は、いくらを想定しているのか。

答 周辺整備の費用は今後の検討事項であり、現時点では未定である。

問 強力な電磁波が周辺住民などの人体と環境に与える影響はどうか。

答 リニア中央新幹線では、電磁波ではなく、磁界として取り扱われている。JR東海は、磁界の基準値を国際機関の見解に従ったガイドラインに準拠して設定されており、この基準値内になるように対策されているため、国土交通省などで妥当性を評価されたものと考えている。

まちづくりにより市民の意見を反映させることについて

吉波伸治議員

問 「中高層建築物並びに集合住宅に関する指導要綱」では「近隣住民に説明会等の方法により、説明を行う」としているが、学研北生駒駅周辺のまちづくり計画のうち「駅南地区II奈良交通車庫跡地」の「近隣住民」とは具体的にどの地区の住民を示すのか。

答 上町、北大和、真弓が近隣である。新消防統合分署建設にあたっては、設計の変更可能な段階で地元には、設計の変更可能な段階で地元には、説明し、協議すべきではないか。

答 北地区で計9回の説明会を開催し、サイレンの音量に対する北大和地区の要望を反映した設計を計画しており、設計内容に変更が生じた場合には改めて説明する。

問 リニア中間駅事業については、「政策・計画段階での環境影響評価を行う調査」を実施し、市民に政策の是非を考える判断材料を提供すべきと考えるが。

答 環境影響評価は、環境影響評価法において事業者が実施するものであり、市による実施は困難である。JR東海が実施する環境アセスの情報は、市民に発信していくように考えている。

災害対策について

成田智樹議員

問 学校の防災機能強化は喫緊の課題である。一部の小学校に防災コンテナが設置されていない理由は。

答 コンテナは、地区防災拠点の8中学校を中心に設置し、さらに地形と人口密集を考慮し、生駒東・桜ヶ丘・あすか野の3小学校と北大和グランドに整備している。

問 校内に水と食料の備蓄は。

答 緊急耐震貯水槽は生駒台・生駒東の2小学校と生駒中学校にあるが、食料の備蓄はないため、今後、学校との協議を検討していく。

問 学校の耐震化に関連して、非構造部材（天井材、照明器具、窓ガラス等）の点検は実施されているのか。

答 日常から施設の安全点検を行い、照明器具や窓枠のがたつきなどを修正している。なお、平成23年9月に再度、各学校に非構造部材の異常について点検を指示しており、今年度は、文部科学省の耐震化ガイドブックに沿って点検している。

問 市役所本庁舎の耐震化方針（改修か建て替えか）は決定したのか。

答 現庁舎の築年数や工事費用などを考慮して、改修と建て替えの両方を検討中であるが、結論が出ていない。今後も低コストで最良の方法がとれるよう協議を重ねていく。



「いこま塾ワークショップ」でくらしの将来像に向け市民がまちづくりのアイデアを出し合う

まちづくりにおける人づくりについて

浜田佳資議員

問 市民の生活実態や地域の多様性に的確に対応したまちづくりには、行政のみでは不可能で、人づくりが重要である。そのための「いこま塾」など一連の取組、成果、現状、また、その後の人材の活用と確保など、今後の取組と展望はどうか。

答 「いこま塾」の取組については、平成22年度に7回の連続講座と、23年度に卒塾者対象のワークショップを6回開催した。成果と現状は、現在まで自主的に井戸端会議を毎月1回、計8回開催され、市民アクションプランの作成にも参加いただいている。また、市民自ら行うまちづくりを行政がサポートし、市民との協働のまちづくりを推進できるように人材を活用していく考えであり、今年度開催予定の第2回いこま塾も、無作為抽出により案内状を送付し、応募者から人材確保を図っていく。**問** 地域の市民自治協議会の構築の推進には、まちづくりにおける人づくりが必要不可欠ではないか。**答** 人材の育成は課題と認識しており、行政が用いる参画手段などで育った人材に依頼したり、自治会が中心となり人材を育成したりする仕組みづくりは必要と考えている。

指定管理者制度について

吉村善明議員

問 指定管理者制度のメリット・デメリットは。

答 民間のノウハウを活用し、市民サービスの向上とコスト削減につながり、2億5千万円の削減効果が出ている。一方、コスト削減にとらわれすぎると、市民サービスの低下につながるおそれもある。

問 指定管理者の選考方法や基準は。

答 効果的、効率的な施設管理に向けて競争原理を働かせるため、原則、公募である。また、コストだけを重視せず、運営方針や自主事業の取組などを基準として総合的に判断できるプロポーザル方式で選定している。

問 指定期間内で締結内容に不備などが発生した時の担保や対処方法は。

答 協定に基づき、市が管理者に改善を指示し、管理者は発生した損害などを賠償する。この担保として、保険加入を義務付けているが、指示しても改善されない場合などに、指定を取り消すことができる。

問 締結後の検証・モニタリングは。

答 年度開始前の事業計画提出による承認や、年度末などの報告による確認を行っている。利用者に対するモニタリングは、一部施設で実施しており、ほかの施設も今年度中に制度を構築して、実施していく。

通所介護と介護予防事業について

樋口稔議員

問 平成28年には4人に1人が高齢者になる。今後、通所介護における奈良県との連携の必要性はどうか。

答 県が通所介護事業所を指定する場合は、書面だけでなく、現地調査や地元自治会への説明など、十分に地域の事情を考慮した上で総合的に判断しており、市が常に関与する必要はないと考える。問題がある場合は、市が把握する内容を逐次、県に情報提供しており、今後必要な連携を図ることができると考えている。

問 二次予防対象者（今後介護を必要とする人）にならないために、市民が手軽に参加できる健康教育と介護予防啓発事業はどうか。

答 健康教育と介護予防啓発事業については、禁煙教室や糖尿病教室などを実施するほか、いこま寿大学において、介護予防講習やヘルシー講座などの実務講習会を新設し、健康について学ぶ機会を積極的に提供している。また、介護予防では、対象者に運動・口腔機能の向上などのプログラムを採用したパワーアップ教室を実施し、要支援や要介護認定への移行を防ぐ取組を行うとともに、対象でない方には、介護予防の必要性を広く啓発し、介護予防教室など普及啓発に力を入れている。

小学生の集団登下校における安全対策と危機管理について

白本和久議員

問 この4月に京都府亀岡市において、集団登校していた10人の小学生と保護者が自動車にはねられ死傷する事故が起こったが、本市でも起こらないとは限らず、同様の事故が起こった場合、本市の危機管理対応の主となる部署はどこか。

答 万一、登下校中に事故が起こった場合、救急との連携や情報提供などを含め、教育委員会が学校と共に対応に当たる体制をとっている。

問 市内全域において、危険箇所の点検は行ったか。また、それに対する対応は、具体的にされているのか。

答 「奈良県安心歩行空間整備方針」に基づき、昨年8月に行った調査に加え、市道についても計画的に必要な改修をするため、今年4月に追加調査を実施した。昨年の調査に基づき、小瀬橋歩道の改修が今年5月に完了しており、順次、改修を進める予定であると県から報告を受けている。また、文部科学省から県教育委員会に依頼があった通学路の緊急合同点検については、市・県・警察・学校・保護者などで8月までに合同で点検し、11月までに対策案を報告することになっており、市としても、県や警察と調整して進めていく。

脱原発・再生可能エネルギー開発に向けた市の施策について

竹内ひろみ議員

問 市長は「脱原発をめざす首長会議」に参加し、脱原発の方向を明確に打ち出したが、市のエネルギー政策として、開発可能な再生可能エネルギーには何かがあるか。また、開発を推進する具体的な計画があるのか。

答 再生可能エネルギーについて、気象条件などから概略的に調査し、太陽光発電が最も適していると考えている。また、小水力発電設備が今年度山崎浄水場で完成する予定であり、生ごみが主原料となるバイオマス発電については、生ごみの分別回収などの取組を検討している。

問 脱原発推進には、市民への啓発や活動支援、市民との協働が不可欠であるが、どのように行う考えか。

答 市施設で太陽光発電パネルを設置し、家庭での太陽光発電を啓発するとともに、住宅への太陽光発電システムの設置補助を実施している。民間事業者による再生可能エネルギーの発電事業に対して、低利融資や補助を検討している。市民や事業者との協働については、「ECO・net生駒」のエネルギー部会を中心に進めていきたい。なお、必要に応じて、脱原発をめざす市民団体へのバックアップを検討していく。

効率的かつ低コストな資源リサイクル対策について

恵比須幹夫議員

問 可燃物に占める古紙の割合はいくらと認識しているのか。

答 平成22年3月に市内2地区において燃えるごみの組成調査を実施した結果、重量割合で約7割の資源化可能な紙ごみは全体の約2割である。

問 集団回収された古紙を引き取る業者について、適正な管理を徹底するため登録制とすべきではないか。

答 回収業者がその場で計量せずを持ち帰り、事後報告に基づき補助金を支払っている実態を踏まえ、今後登録制度なども検討していきたい。

問 現在、古紙の行政回収は、可燃物とともに実施されているが、更に分別排出を促進していくには、可燃物と切り離して回収する方が適切ではないか。

答 可燃物と切り離すことにより回収量は増えると考えられるが、紙類だけを別途回収することは相当の費用がかかることから、昨年度から取組を強化している集団資源回収の回収率を更に高めるよう努力したい。

他の項目

● 下水道事業の課題と対策について

「地域主権改革一括法」にどのように対応するのか

塩見牧子議員

問 住民が自らの行動と選択に責任を負う地域主権の確立をめざして、昨年公布された「地域主権改革一括法」をどのように評価するのか。

答 県の事務が移譲されることなどにより、市の実状に応じたサービス提供が可能となり、自治体の創意工夫で施策が行えるようになることから、自治体間の競争等が激化すると考える。

問 条例で施設基準等を規定できるようにしたが、制定の過程で市民の意見をどのように反映させるのか。

答 市民からの意見を参考にし、反映し、良いものにしていくのは当然と考える。パブリックコメントの実施は、必要性を踏まえ検討したい。

問 職員の定員適正化計画を実行する中で、県からの権限移譲にともない増える事務量にどう対応するのか。

答 現在、業務全般の見直しにより、業務執行の効率化を図り、限られた人員でも効率的、効果的に事務を執行できる体制の構築に向けて取り組んでいる。

他の項目

● 第5次総合計画の検証と後期基本計画策定方針について

平成24年5月臨時会・6月定例会の議決結果

議案名	議決結果	吉村 善明	山田 耕三	樋口 稔	西山 洋竜	山田 弘己	桑原 義隆	成田 智樹	恵比須幹夫	竹内ひろみ	浜田 佳資	塩見 牧子	伊木まり子	中浦 新悟	樋口 清士	白本 和久	吉波 伸治	角田 晃一	有村 京子	下村 晴意	上原しのぶ	井上 充生	中谷 尚敬
生駒市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	△	▲	▲	▲	▲	△	▲	▲	△	△	▲	▲	△	△	△	▲	▲	▲	▲	△	△	△
生駒市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生駒市生涯学習施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(仮称)郷土資料館改修工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

山田正弘議長は、地方自治法の規定により、議決に加わるできません。

○=原案賛成 ●=原案反対
△=修正案賛成 ▲=修正案反対

全会一致で原案可決・承認・了承した議案

- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・平成23年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・平成23年度生駒市生駒駅前市街地再開発事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- ・平成23年度生駒市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- ・平成23年度生駒市水道事業会計予算繰越計算書
- ・平成23年度生駒市病院事業会計継続費繰越計算書
- ・平成23年度生駒市病院事業会計予算繰越計算書
- ・専決処分につき承認を求めることについて(平成24年度生駒市自動車駐車場事業特別会計補正予算(第1回))
- ・生駒市住民基本台帳カード利用条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- ・市道路線の認定について

6月					5月				4月										
28日	25日	22日	21日	19日	18日	13日	12日	11日	4日	30日	25日	17日	9日	7日	1日	26日			
議会改革特別委員会	議会編集委員会	6月定例会本会議	全員協議会	病院事業特別委員会	議会運営委員会	環境文教委員会	企画総務委員会	議会運営委員会	市民福祉委員会	都市建設委員会	6月定例会本会議	6月定例会本会議	6月定例会本会議	議案説明会	議員共済会幹事会	議員共済会総会	議員共済会幹事会	議案説明会	病院事業特別委員会

議会のついで

9月定例会の会議の予定		7月	3日
8月23日(木)10時	決算審査特別委員会	10日	決算審査特別委員会
24日(金)10時	決算審査特別委員会	11日	環境文教委員会視察 (生駒市学校給食センター)
9月6日(木)14時	議案説明会	17日	議会編集委員会
12日(水)10時	議会運営委員会		
18日(火)10時	本会議(一般質問)		
19日(水)10時	本会議(一般質問)		
20日(木)10時	本会議(一般質問)		
21日(金)10時	本会議(一般質問)		
24日(月)10時	都市建設委員会		
25日(火)10時	決算審査特別委員会		
26日(水)10時	市民福祉委員会		
27日(木)10時	環境文教委員会		
10月1日(月)10時	決算審査特別委員会		
4日(木)10時	決算審査特別委員会		

就任のあいさつ

議長、副議長就任に当たりまして、ごあいさつ申し上げます。

本市におきましては、リニア中央新幹線中間駅の誘致、生駒駅前再開発事業、市立病院の建設などの事業が進められます。市議会といたしましては、今後とも、皆様のご意見に積極的かつ真摯に耳を傾け、市政に反映されるよう努めてまいります。

また、引き続き、意思決定機関としての権能を発揮し、公平・公正かつ円滑な議会運営に努めるとともに、地域主権時代における市民のための議会を目指して、改革に全力を注いでまいりますので、今後とも、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



樋口清士 副議長 山田正弘 議長

5月臨時会

議会役員を改選

5月臨時会は、5月9日に「国民健康保険税条例の一部改正」と専決処分議案2件を付議事件として招集されました。審議の結果、いずれも異議なく原案を可決・承認しました。

また、急施事件として、議長・副議長の選挙や監査委員の選任など、議会役員を改選しました。

議長に山田正弘 議員 副議長に樋口清士 議員

9日開会の本会議では、議長選挙を行い、投票の結果、山田正弘議員が第41代議長に当選しました。

続いて、副議長選挙を行い、投票の結果、樋口清士議員が第41代副議長に当選しました。

監査委員に中谷尚敬 議員

続いて、議会選出の監査委員に中谷尚敬議員を選任することに異議なく同意し、再任しました。そのほか、4常任委員会（企画総務、市民福祉、環境文教、都市建設）と議会運営委員会の委員を選任しました。

新議会役員は、市議会ホームページに掲載しております。

吉田正人議員逝去



市議会議員の吉田正人さんが、去る5月7日に72歳で逝去されました。

5月臨時会開会日の本会議では黙祷を捧げました。

吉田議員は、平成11年の生駒市議会議員選挙に初当選され、3年11カ月の間、議員を務められた後、昨年4月に再当選されました。議会運営委員会や北部地域開発特別委員会などの副委員長を歴任され、市政の発展に貢献されました。

謹んで哀悼の意を表し、御冥福を心よりお祈り申し上げます。
生駒市議会議員一同

新緑の生駒山で

ウォーキング

市議会議員共済会

議員共済会は、6月2日(土)に開催されました「生駒山スカイウォーク」に参加しました。

スタート地点の生駒山上遊園地駐車場は曇天で、吹く風は少し肌寒く感じられましたが、スカイラインに入ると湿気は少なく、とても歩きやすいコンディションでした。私たち議員は、信貴生駒スカイラインを下り、さらに暗越奈良街道（暗峠）を下り、南コミュニティセンターまでのAコース、7.1キロを歩きました。皆さんとあいさつを交わし、会話をしながら、最後まで気持ちよく歩くことができました。

